取扱説明書

ダイキンスポットエアコン クリスプ

〈クリスプ《一体形》〉

掲載機種

SUASP1DS　SUASP1DT
SUASSP1DS　SUASSP1DT
（屋内設置用）

●このたびはダイキンエアコンをお買上げいただき、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになった後、いつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。
お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。

●保証書はお買上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

安全について　必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

	絶対にしないでください。		必ず指示どおりに行ってください。		必ずアース工事をしてください。
	絶対にぬれた手で触れないでください。		絶対に水にぬらさないでください。		必ず電源プラグを抜いてください。

⚠警告 使用上の注意事項

●長時間冷風を体に直接当てない、冷やし過ぎない
体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

●吸込口や吹出口に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。
禁止

●分解や修理をしない
水もれや感電・火災の原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。
禁止

●改造は絶対にしない
事故の原因になります。
改造による故障は、保証期間内でも有料修理になります。
禁止

●調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。
禁止

●調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。
禁止

●冷媒がもれたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。
禁止

●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。
禁止

●電源プラグの抜き差しでエアコンの運転や停止をしない
火災や水もれの原因になります。
また、ファンが突然回り、けがの原因になります。

禁止

●電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままでの使用はしない
重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると、破損して感電・火災の原因になります。
禁止

●電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・タコ足配線をしない
感電や発熱・火災の原因になります。

禁止

●ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。

禁止

●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止し電源をしゃ断してから、電源プラグを抜く
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

●電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、がたつきのないように確実に差し込む
感電や火災の原因になります。

⚠警告 使用上の注意事項

●**電気工事が必要な場合は、お買上げの販売店に依頼する**

配線などに不備があると、感電・火災の原因になります。

●**電源は必ずエアコン専用の電源を使用する**

専用以外の電源を使用すると発熱・火災・故障の原因になります。

●**洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買上げの販売店に相談する**

運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。

⚠注意 使用上の注意事項

●**特しゅ用途には使用しない**

精密機器・食品・美術品などの保存、動植物の飼育や栽培など、特しゅ用途に使用すると、対象物の性能・品質・寿命に悪影響をおよぼすことがあります。

●**エアコンの上に乗ったり、物を載せたりしない**

落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。

●**エアコンの真下や近くにぬれて困るものは置かない**

運転条件によっては、本体や冷媒配管への結露・エアフィルターの汚れ・ドレン出口のつまりで水が滴下し、家財などをぬらす原因になることがあります。

●**吹出ダクトの方向転換は、たたいたり強く曲げたりしない**

脱落し、けがの原因になることがあります。

●**エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない**

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

●**エアコンの近くで暖房器具を使わない**

暖房器具の熱により吸込グリルなどが変形することがあります。

●**動植物に直接風を当てない**

動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

●**吹出口の1m以内にスプレー缶などを置かない**

温風によりスプレー缶などが爆発するおそれがあります。

●**エアコンで遊ばせない**

誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。

●**エアコンの吸込口やアルミフィンにさわらない**

けがの原因になることがあります。

●**エアコンの吹出口を取り外さない**

ファンが高速で回転し、けがの原因になることがあります。

●**吸込口や吹出口をふさがない**

能力低下や故障の原因になることがあります。

●**傾斜部や凸凹部に設置しない**

転倒によるけがや水もれの原因になることがあります。必ず水平な場所に設置してください。

●**移動時傾けない**

転倒によるけがや水もれの原因になることがあります。

●**運転中は移動しない**

水もれや感電の原因になることがあります。

●**エアコンの周辺に、物を置いたり、落ち葉をためない**

落ち葉などから侵入した小動物が、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

⚠注意 使用上の注意事項

●吹出口・吸込口の近くにものを置かない

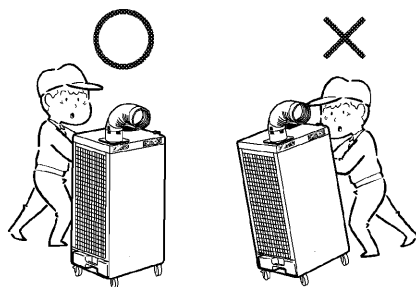
能力が低下、または運転が停止することがあります。

禁止

●エアコンを移動させるときは指定の箇所以外を押さない

その他の部分を押すと、転倒の原因になります。
機械を移動させる場合は、キャスター(自由輪)のロックを解除状態にしてください。
また、移動経路に段差や障害物があると、転倒の原因になります。必ず平坦な場所で移動させてください。
(注)機械は転倒防止のため15°以上傾けないでください。

禁止

天板後側をしっかり持って押してください。

●ぬれた手で操作しない

感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

●エアコンを水洗いしない

漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●エアコンの上に花びんなど、水の入った容器を置かない

漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源をしゃ断してから、電源プラグを抜く

感電やけがの原因になることがあります。

●長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。

●ドレンタンクは必ず水を捨て、製品に取り付けて使用する（ドレンホース接続時はドレンタンクは不要です）

ドレンタンクがないと、水もれや感電の原因になることがあります。

●ドレンタンクは正しく取り付ける

逆向きに取り付けると水もれや感電の原因になることがあります。

●ときどき換気を行う

換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。
特に燃焼器具と一緒に使用するときは、ご注意ください。

●電源プラグの抜き差しは、プラグ部分を持って行う

コード(ケーブル)を引っ張ると、断線などで、発熱・発火の原因になることがあります。

●移動時は、キャスターのストッパーのロックを解除する

転倒によるけがや水もれの原因になることがあります。

●使用時は、キャスターのストッパーをロックする

転倒などによりけがの原因になることがあります。

●ドレンタンクの排水時タンクのとってはしっかり持つ

満水のドレンタンクの落下によりけがや水もれの原因になることがあります。

●ドレンホースを接続した状態でエアコンを移動する場合は、ドレンホースがエアコンの移動のさまたげにならないようにしてから移動する

転倒によるけがや水もれの原因になることがあります。

●エアコン内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買上げの販売店に依頼する

誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になることがあります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙、発火の原因になることがあります。

⚠警告 据付上の注意事項

●**据付工事は、自分でしない**
据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。
禁止

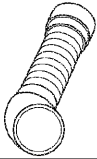
●**別売品の取付けは、自分でしない**
別売品は当社指定以外のものは
使用しない
取付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。
禁止

●**修理や移動・再設置は、自分でしない**
据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。
禁止

●**アース工事を行う**
アースが不完全な場合は、
感電や火災の原因になります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・
電話のアース線に接続しないでください。

●**法規にしたがって漏電しゃ断器を取り付ける**
（専門業者へ依頼する）
100V機を乾燥した場所で使用する
場合は省略できます。
感電や火災の危険を防止するためです。

●**冷媒もれ対策は、販売店に相談する**
万一、冷媒がもれて限界濃度を
超えると、酸欠事故の原因になります。
小部屋に据え付ける場合は、冷媒が
もれても限界濃度を超えないように
対策する必要があります。
⚠注意 据付上の注意事項

●**可燃性ガスのもれるおそれのある**
場所へは設置しない
万一、ガスがもれてユニットの
周囲に溜まると、発火の原因に
なることがあります。
禁止

●**ドレンホースは、確実に排水するように**
施工する
不備があると、屋内に水もれし、
汚れや故障の原因になることが
あります。

据付けについて

据付前に付属品をご確認ください。

名　称	冷風吹出口	クランプ材	排気ダクト	その他
個　数	1	1	1	各1
形　状			※SUASSP1DS・SUASSP1DTのみ	取扱説明書 保証書

据付場所について

●まわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？

●次のような場所では使用しないでください。
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
- 電圧変動の多いところ(定格電圧±10%以内)
- 車両・船舶への搭載など
- 電磁波を発生する機械のあるところ
- 調理場など蒸気の多いところ
- 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- 傾斜や凸凹のあるところ

運転音にもご配慮を

●次のような場所を選んでいますか？
- エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ

●エアコンの吹出口近くに障害物がありませんか？
機能低下や運転音増大のもとになります。

●使用中に異常音がする場合はお買上げの販売店にご相談ください。

電気工事について

- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」にしたがって施工し、必ず専用回路を使用してください。
また、200V以上で使用するエアコンの電気工事は、必ず電気工事業として登録された据付工事店が行ってください。

●電線などの選定

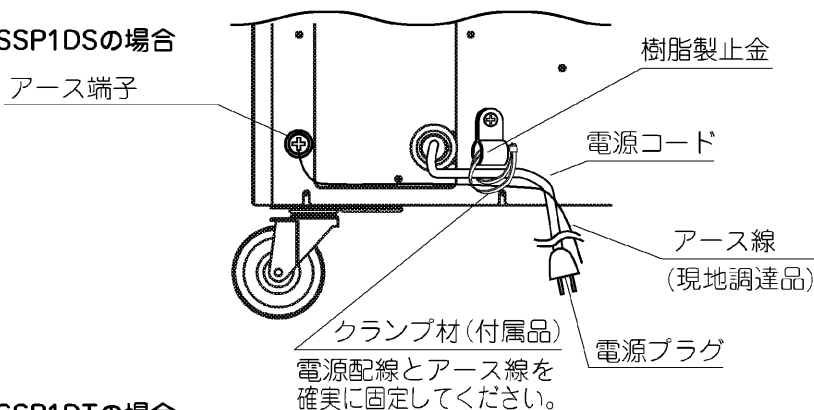
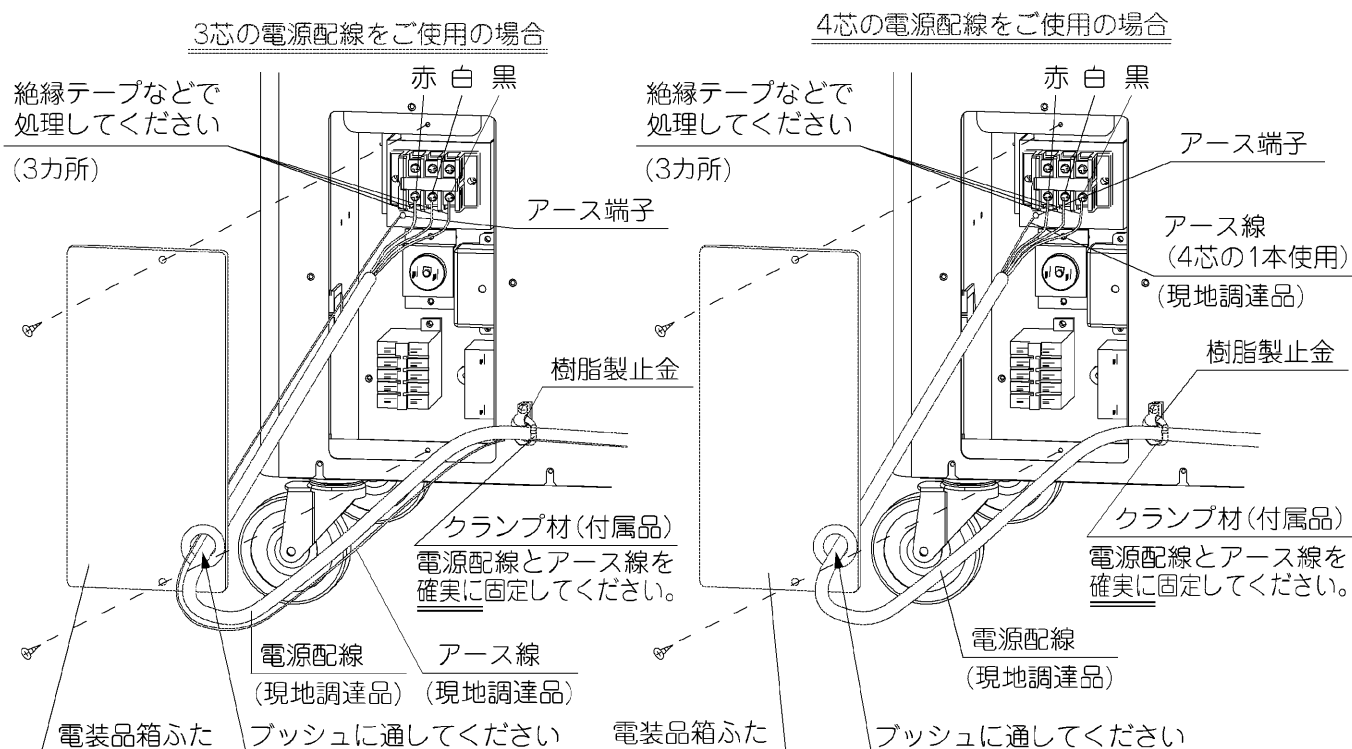
項目 ＼ 形名		SUASP1DS SUASSP1DS	SUASP1DT SUASSP1DT
電　　源		単相100V 50/60Hz(＊2)	三相200V 50/60Hz(＊11)
電源配線太さ(mm²)		2.0	2.0
こ　う　長(＊1)(m)		16(＊10)	60
プ　ラ　グ		本体に付属	250V 15A(引掛形20A)
コンセント		125V 15A	250V 15A(引掛形20A)
漏電しゃ断器(＊5)	定格電流(A)	15	10
	定格感度電流(mA)	30	30
	動作時間(s以下)	0.1	0.1
アース線(mm²)		2.0	2.0

＊1　電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。
＊2　100V機は電源コードを付属しています。延長コードを使用する場合は、内線規程(JEAC8001)に基づき、電圧降下を考慮し、こう長および電源配線太さを算出してください。
＊3　法規にしたがって漏電しゃ断器を取り付けてください。100V機を乾燥した場所で使用する場合は省略できます。
＊4　配線要領は内線規程(JEAC8001)に基づいて決められています。
＊5　漏電しゃ断器で地絡保護専用のものは、ヒューズ付負荷開閉器または配線用しゃ断器と組み合わせて使用してください。
漏電しゃ断器の定格容量は、ヒューズ容量または配線用しゃ断器の定格電流と同等以上の容量のものを使用してください。

項目＼形名		SUASP1DS SUASSP1DS	SUASP1DT SUASSP1DT
ヒューズ付負荷 開閉器使用の場合	開閉器容量(A)	15	15
	B種ヒューズ容量(A)	15	10
配線用しゃ断器 使用の場合	定格容量(A)	15	10

＊6　配線用しゃ断器の定格しゃ断容量は、現地設備工事内容により、それぞれ異なります。
　　しゃ断器取付箇所における短絡電流を計算(推定)し、十分耐えるだけのしゃ断容量を有する適正なしゃ断器を選定してください。
　　その都度計算できない場合は、電気技術基準調査委員会においてJEAC8701『低圧電路に使用する自動しゃ断器の必要なしゃ断容量』が発行されていますので現地設備工事内容に適合するしゃ断器を選定してください。
＊7　接地工事は必ず電源をしゃ断してから行ってください。
＊8　D種接地工事は必ず行ってください。漏電しゃ断器を取り付ける場合は、保護接地抵抗値が適用できます。
　　(保護接地抵抗値は、500Ω以下にしてください。)
＊9　据付後、配線工事のチェックを行い、誤配線がないことを確認してください。
＊10 付属の電源コードの長さを除いたこう長を示します。
＊11 電源配線は必ず正相で接続してください。本機は逆相保護回路を搭載しています。逆相保護回路作動時は、3線中2線を入れ替えてください。(200V機の場合)
＊12 電源はほかの機器類と併用しないでください。専用回路にて電気配線してください。
＊13 電線は継ぎ足しをしないでください。

●電源配線要領

ーSUASP1DS･SUASSP1DSの場合

ーSUASP1DT･SUASSP1DTの場合

●端子ねじの締付けには、適正ドライバーを使用してください。
●端子ねじを締め付けすぎるとねじを破損する可能性があります。
●端子ねじの締付トルクは下表をご覧ください。

＊締付トルク	
M4	1.18〜1.44

（単位：N・m）

●クランプ材は締付け後、余分な端部はカットしてください。
●エアコン専用の回路を使用してください。
●電源から本機への配線は、電気品箱サービスふたを外し、配線貫通穴より端子台に接続してください。（200V機の場合）

●コンセントは確実に差し込んでいますか？また、電源コードや電源配線が断線していませんか？
圧縮機が焼損する原因になることがありますので、必ず下記項目を実施してください。

a. コンセントはロック式のものを使用してください。
b. 電源コードや電源配線は断線のおそれがないか定期点検をしてください。
詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

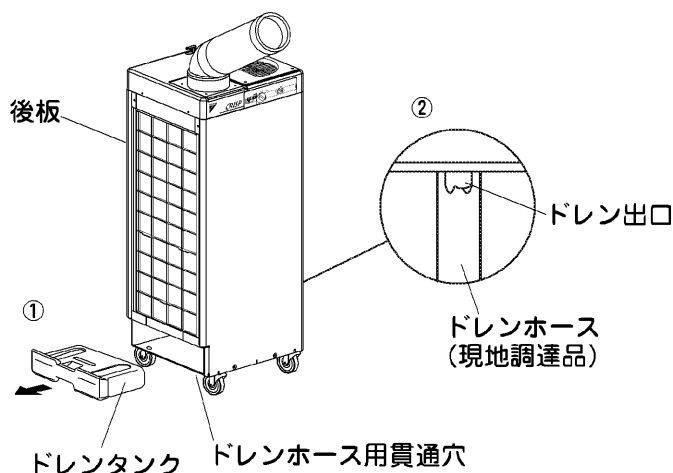
注意

●運転可能電圧は定格電圧の±10%以内です。

（100V機の場合：90〜110V
200V機の場合：180〜220V
（始動時の電圧降下を含めた値））

この範囲をこえると正常に運転できなくなることがあります。
100V機の場合、延長コードを使用しないでください。

ドレンホースを接続する場合

ドレンタンクを使用せずにドレンホースを接続する場合は、ドレン出口に直接ホースを接続してください。（ドレンホースは現地調達品…推奨ホース内径16mm）

お願い
- **ドレンホース接続時、ドレン出口を破損しないようにご注意ください。**
- **ドレンホース接続時はドレンタンクは不要となります。**
- **ドレンホースは通行などのさまたげにならないようにし、つまりやつぶれがなく確実に排水できることをご確認ください。**

①ドレンタンクを取り出してください。
②ドレン出口に直接ドレンホースを奥までしっかり押し込んでください。
（ドレンホースはドレンホース貫通用穴を通して機外に取り出してください。）

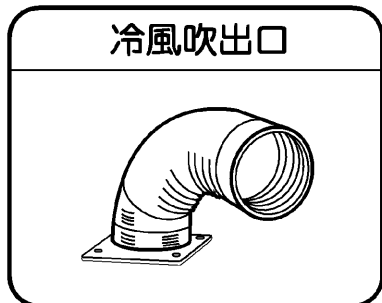
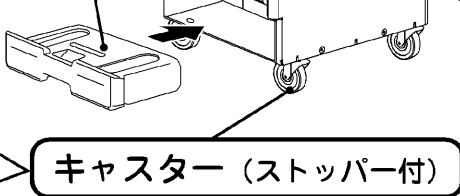
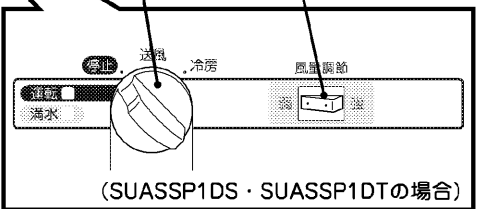
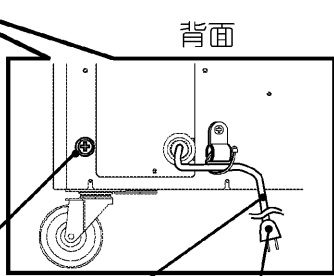
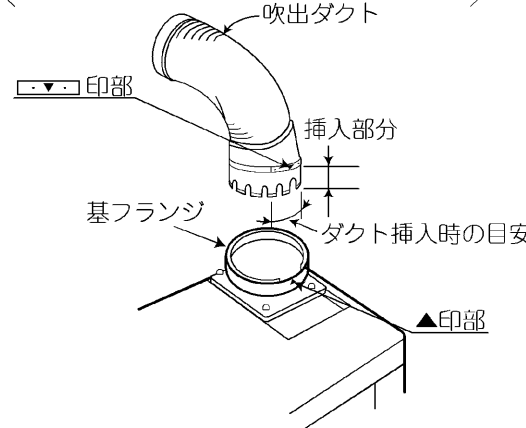
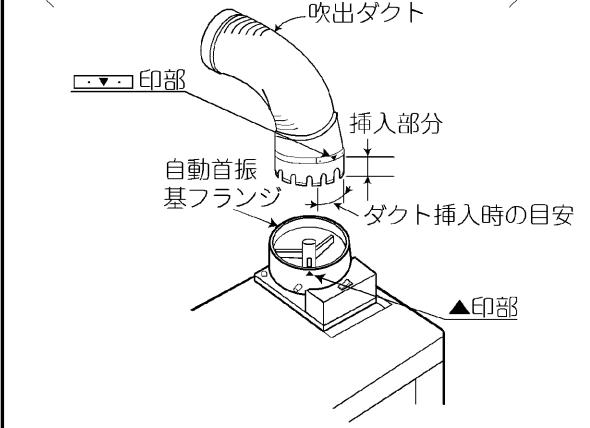
試運転について

電源工事が終了したら、必ず「運転のしかた（10ページ参照）」にしたがって、機能の確認をしてください。

試運転で正常に運転できない場合は、「調子がおかしいときは（14,15ページ参照）」の項目を確認し、販売店にご連絡ください。

各部の名前と働き

⚠注意

●運転中は移動しない
水もれや感電の原因になることがあります。
禁止

●ドレンタンクは正しく取り付ける
逆向きに取り付けると水もれや感電の原因になることがあります。

運転準備

1 キャスターのストッパーをロック状態にします。

（ロック時の状態は 8 ページをご覧ください。）

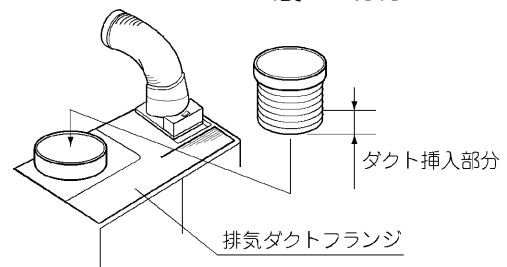
2 吹出ダクトを取り付けます。（製品に付属しています。）

お願い
- 吹出ダクト取付時、挿入部分を持たないでください。
  必ず、それ以外のダクト部を持って作業してください。
  指をはさみ、ケガの原因になることがあります。

SUASP1DS·SUASP1DTの場合	SUASSP1DS·SUASSP1DTの場合
吹出ダクトの銘板（ 印部）の • 印から •印の範囲を目安として、基フランジの▲印に合わせて上から真すぐに押し込んでください。（カチッと音がするまで確実に押し込んでください。）	吹出ダクトの銘板（ 印部）の •印から • 印の範囲を目安として、自動首振基フランジの▲印に合わせて上から真すぐに押し込んでください。（カチッと音がするまで確実に押し込んでください。）

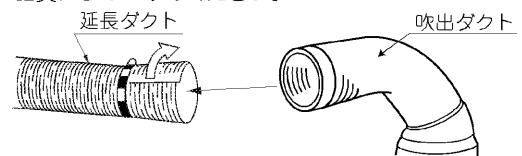
3 排気ダクトを取り付けます。—SUASSP1DS·SUASSP1DTのみ（製品に付属しています。）

排気ダクトは、伸縮自在で上または横方向に吹き出すことができます。

（排気ダクトフランジ底面にダクトが当たるまで確実に押し込んでください。）

4 延長ダクトを取り付けます。（別売品です。）

注意

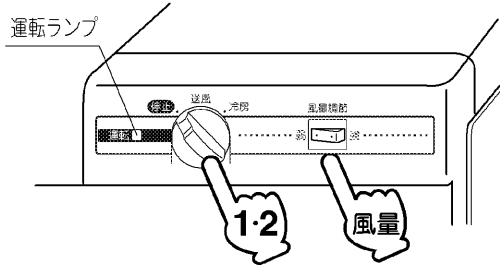
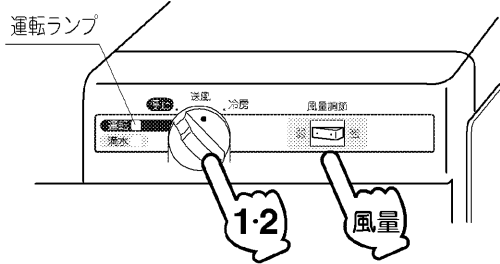
- **取付作業の前に、必ず電源をしゃ断してください。**
- **延長ダクトを取り付けて首振運転はできません。**
  延長ダクトを取り付けるときは、必ず首振運転スイッチを固定側に固定してください。
  首振側で運転し続けると製品が故障する原因になります。

延長ダクトの接続は、延長ダクトを右にねじってダクト径を拡大し、吹出ダクトに差し込んでください。差し込み後、延長ダクトに付属の止めバンドで確実にしめつけてください。

5 エアフィルター・ドレンタンクがきちんと収まっていることを確認します。

6 アース線が確実に接続されているか確認します。

7 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。

冷房・送風運転のしかた

●SUASP1DS･SUASP1DTの場合

●SUASSP1DS･SUASSP1DTの場合

1 **運転操作ツマミ**を**送風**にします。
運転ランプ（赤）が点灯します。
（圧縮機は運転していません。）

●送風運転の操作はここまでです。

2 **運転操作ツマミ**を**冷房**にします。
冷房運転を開始します。
（圧縮機が運転を始めます。）

風量 **風量調節スイッチ**により「強」「弱」の選択ができます。

●風量調節スイッチは ページ参照

停止 **運転操作ツマミ**を**停止**にします。
運転を停止します。
運転ランプが消灯します。
（圧縮機も停止します。）

連続運転可能範囲

機　種　名	周囲温度
SUASP1DS･SUASSP1DS SUASP1DT･SUASSP1DT	25～45℃

お願い

- **200V三相機の場合、操作後運転しないときは、逆相保護装置が作動していることがあります。3線中2線を入れ替えてください。回らないからといって絶対に電磁開閉器を手で操作しないでください。手で操作しますと圧縮機が故障します。**
- **冷房運転停止後、再運転するときは3分以上お待ちください。保護装置が働き、運転しないときがあります。**

運転の内容と働き

SUASSP1DS・SUASSP1DTの場合

※1 ドレンタンク満水時は、満水ランプ（赤）が点灯し送風運転となります。（圧縮機は運転しません。）
運転操作ツマミを停止にしてからドレンタンクの水を排水し、ドレンタンクを収納後、再度冷房運転にしてください。満水ランプが点灯した場合、1度運転操作ツマミを停止にしないと運転しません。

上手な使いかた

自動首振運転のしかた ― SUASSP1DS・SUASSP1DTのみ

運転　**首振運転スイッチ**を**首振**にします。
首振運転を開始します。

●操作パネルの運転ランプが点灯していないと動きません。

停止　**首振運転スイッチ**を**固定**にします。
首振運転を停止します。

首振角度切換方法

首振角度は50°または70°に設定できます。
首振角度を変更する場合は次の手順で行ってください。

50°―レバーを引く。
70°―レバーを押す。
角度切換
角度固定

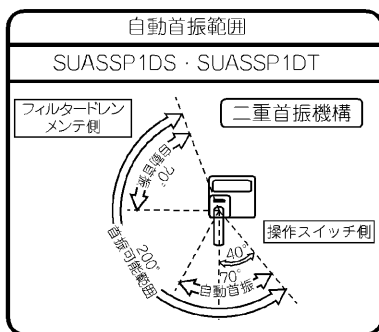
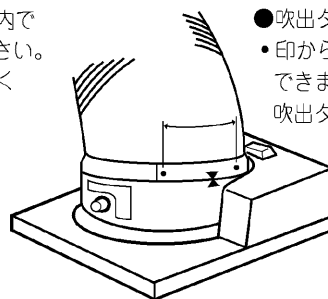
1　**首振角度切換レバー**を**角度固定**から**角度切換**に回します。

2　首振角度を設定します。
50°―レバーを引く
70°―レバーを押す

3　設定後、必ず角度切換レバーを**角度固定**に戻します。

お願い
- 首振運転を行うとき角度切換レバーは確実に「角度固定」の位置にセットしてください。
- 角度の変更および吹出ダクトを曲げるときは必ず首振運転を停止してください。

ダクト回転可能範囲

自動首振範囲
SUASSP1DS・SUASSP1DT

●吹出ダクトは自由首振範囲内でご希望の位置を選んでください。
●自動首振範囲は電動にて動く範囲です。

●吹出ダクトの銘板（・▼・印部）の•印から•印の範囲で向きを変えることができます。
吹出ダクトを持って軽く回してください。

●狭い場所での使用は、窓や扉を開ける
締め切った狭い場所では室温が上昇します。

●エアフィルターはこまめに清掃する
汚れたまま運転すると能力の低下、または故障の原因になることがあります。

12 ページ参照

●テレビ・ラジオ・ステレオなどはスポットエアコンから1m以上離す
映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。

⚠警告

●**可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない**
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

⚠注意

●**エアコンを水洗いしない**
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●**掃除のときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く**
感電やけがの原因になることがあります。

●**ドレンタンクは必ず水を捨て、製品に取り付けて使用する**
（ドレンホース接続時はドレンタンクは不要です）

ドレンタンクがないと、水もれや感電の原因になることがあります。

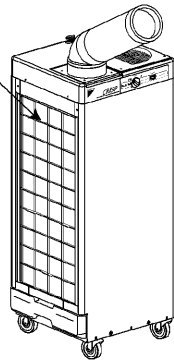
お願い
●**清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。**
故障やけがの原因になることがあります。
●**吸込口に正規のエアフィルター以外のもの（キッチンペーパーなど）を取り付けないでください。**
性能が低下し、凍結・水もれの原因になることがあります。

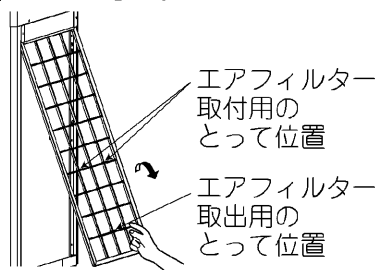
日常のお手入れ

エアフィルターの清掃のしかた

●汚れのひどいところでご使用になる場合は1週間に1度清掃してください。
通常は2週間に1度が目安です。

●**清掃を行わないと、悪臭の原因になることがあります。**

●エアフィルターは、左側面にあります。（1枚のみ）

1. エアフィルターを取り出します。

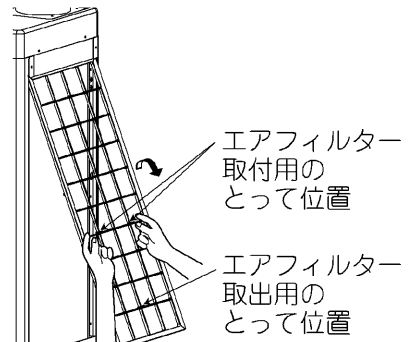
エアフィルターのとってを少し持ち上げ、下方へ引き抜いてください。

2. 清掃します。

取り出したエアフィルターは、清水かぬるま湯で洗ってください。

汚れがひどい場合、柔らかいブラシや中性洗剤を使って洗ってください。 ➡ 水切りし、日陰で乾かしてください。

お願い
●**50℃以上のお湯で洗わないでください。**
変形することがあります。
●**火であぶらないでください。**
燃えることがあります。
●**長時間、直射日光に当てないでください。**
縮むことがあります。

3. エアフィルターを取り付けます。

エアフィルター取付用のとって(2ヵ所)を両手で持ち、取り付けてください。

外装の清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがとれないときは、水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞った布でふきとった後、からぶきしてください。

- **ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**
- **50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**

ドレンタンクの排水について

- ドレンタンク内の水位は毎日数回こまめに点検し、排水してください。水もれの原因になることがあります。（条件によっては数時間で満水になることがあります。）

- **ドレンタンクをエアコンより取り出す際は、タンクのとってをしっかり持ち、水平にゆっくりと引き出してください。急な取り出しは、タンクの落下によりけがや水もれ、ドレンタンク破損の原因になることがあります。**

その他の日常のお手入れ

性能を維持しより長くご愛用いただくために、次のお手入れをしてください。

- コンセントと電源プラグは定期的に清掃して、ホコリなどを取り除いてください。
- アース線は、断線・ねじ端子のゆるみがないか定期的に点検してください。(外郭にアース端子がある場合)

シーズン始め・終わりのお手入れ

シーズン始め

確認してください。

- エアコンのまわりに障害物がありませんか？障害物がある場合は取り除いてください。
- アース線が外れていませんか？途中で断線していませんか？異常がある場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。

エアフィルターと外装を清掃してください。

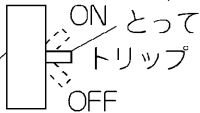
- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。　清掃のしかたは 12,13 ページ参照

電源プラグをコンセントに差してください。
電源を入れてください。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- 送風運転のしかたは 10 ページ参照

電源をしゃ断してください。
電源プラグをコンセントから抜いてください。
ドレンタンクの水は必ず捨ててください。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。　清掃のしかたは 12,13 ページ参照

熱交換器やファンを洗浄する場合は、必ずお買上げの販売店にご依頼ください。

調子がおかしいときは

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
全然運転しない	電源ブレーカーがしゃ断されていませんか？	●電源ブレーカーのとってがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのとってがトリップ位置の場合は、電源を入れないでください。 （販売店にご連絡ください。） 電源ブレーカー（漏電しゃ断器） ON とって トリップ OFF
	停電ではありませんか？	停電復帰後、運転操作ツマミを「停止」にし、再運転してください。
	ヒューズ付負荷開閉器のヒューズが切れていませんか？	ヒューズを確認し、ヒューズが切れている場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。
運転するとすぐに止まる	エアコンの上やエアフィルターの前にものを置いていませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 12 ページ参照
	凝縮器にゴミやホコリが詰まっていませんか？	販売店にご相談ください。
	周囲温度が高すぎませんか？	風通しを良くするなどして、連続運転可能範囲内でご使用ください。 10 ページ参照
よく冷えない	吹出口をふさいだり、エアコンの上やエアフィルターの前にものを置いたりしていませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 12 ページ参照
	延長コードを使っていませんか？	延長コードを使わず、直接コンセントに接続してください。※1
	周囲温度が高すぎませんか？	風通しを良くするなどして、連続運転可能範囲内でご使用ください。 10 ページ参照
	蒸発器にゴミやホコリが詰まっていませんか？	販売店にご相談ください。

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理しないで、お買上げの販売店にご連絡ください。
このとき、症状と機種名をお知らせください。
（機種名は製品外板下方に取り付けている銘板に記載しています。）
※1　運転可能電圧：90～110V、（100V機の場合）

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因
ドレン量が少ない	冷房時、ドレンタンクに水がたまらない	熱交換器上部の蒸発器で除湿した水を下部の凝縮器で一部蒸発させているためです。
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき（油分やホコリの多い場所）	エアコン内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。※
音が出る	冷房運転スタート時の「ジー」という連続音	冷房運転したときの圧縮機の音です。しばらくすると消えます。
	運転停止後の「シュルシュル」という音	ガス（冷媒）の流れが止まる音、および流れが変わる音です。
ホコリが出る	長時間運転停止後、ふたたび運転を始めるとき	エアコン内部に付着したホコリが吹き出るためです。
ニオイが出る	運転中	部屋のニオイ、たばこのニオイなどがエアコン内部で吸着されて吹き出すためです。

※エアコンの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買上げの販売店にご依頼ください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

⚠警告

●異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源をしゃ断して、プラグを抜く

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

症状	次の処置をしてから連絡を
電源コード・ケーブルが異常に熱い。 電源コード・ケーブルが破れている。	操作ツマミで停止にし、電源をしゃ断してから、電源プラグを抜いてください。
電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電しゃ断器などの安全装置がたびたび作動する。	電源を入れないでください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源をしゃ断してください。
エアコンから水がもれる。	運転を停止してください。